

( 第 19 回 )  
パーソナル先端商品の利用状況

( 調査結果の概要 )

2004年3月

社団法人 中央調査社

## パーソナル先端商品の利用状況

2004年3月  
社団法人 中央調査社

社団法人 中央調査社は、全国2,000人の20歳以上男女個人を対象とする調査から、「家庭向け・個人向け先端商品の利用率、利用意向率」をまとめました。調査時期は2004年2月、回収率は69.2%（有効回収1,383人）です。この調査は1986年11月から毎年行っており、経年比較によって各商品の伸長などを読み取ることができます。

### 今回の調査結果からみた主なポイント

- 「DVDプレーヤー」は急増、「ケーブルテレビ」が増加、「液晶テレビ」は微増
1. AV関連機器等では、「BS放送用受信装置」は横ばいの33.1%、「ケーブルテレビ」の利用率はかなり増加して2割台(21.0%)に達した。「BSデジタル放送用受信装置」「CS放送受信装置」は大きな伸びはみられない。今回新たに調査した「地上デジタル放送用受信装置」は2.6%の利用率となっている。
    - ・前回から調査した「液晶テレビ」は微増して8.0%、「プラズマテレビ」は2.4%の利用率。「ビデオカメラ」の利用は微増して3人中1人の利用率。
    - ・増加傾向の「デジタルカメラ」は今回さらに8ポイントの急伸で33.9%と、「ビデオカメラ」とほぼ同水準に達した。「MDプレーヤー」は順調に伸長し、3割近くの利用、パソコン・ゲーム機の機能を含めた「DVDプレーヤー」の利用率は急増して34.5%と、3人中1人以上の利用率。「家庭用ゲーム機」は横ばいの27.9%だった。
  2. パソコン関連機器では、「デスクトップ型」、「ノート/ブック型」とも利用率は増加傾向にあり、「パソコン用プリンター」、「スキャナー」も引き続き伸びている。「パソコン(計)」の利用率は49.3%と、5割近くになった。
    - 「ブロードバンド回線の利用者」は、2割近く(17.2%)まで伸長、「携帯電話(計)」は、3人中2人の利用率、「カメラ付」が「カメラ無」を上回る
  3. 通信関連等では、「インターネットの利用」は3割台半ば(34.6%)に増加し、「ブロードバンド回線の利用率」は順調に伸長して17.2%。「インターネット電話(IP電話)」の利用率は4.6%となっている。
    - ・「携帯電話(計)」は増加して3人中2人の利用率(67.9%)に達した。携帯電話のうち、「カメラ付き携帯電話」は、急増して携帯電話利用者の過半数(53.8%)を占めている。「家庭用ファクシミリの利用」はさらに増加して、4割近く(36.7%)に及ぶ。  
(新規)利用意向は、「液晶テレビ」「プラズマテレビ」が高い
  4. 今後の(新規)利用意向は、「液晶テレビ」が14.4%と最も高く、以下、前回1位の「パソコン(計)」が13.1%、「プラズマテレビ」が11.3%、「ノート/ブック型パソコン」が7.9%、「デジタルカメラ」が7.8%、「BSデジタル放送用受信装置」が7.5%、「携帯電話(計)」が7.0%などが上位を占める。  
前回との比較では「液晶テレビ」「プラズマテレビ」「パソコン(計)」の利用意向が引き続き高率となっている。

## 1. 利用率 (図表1)

- ・ AV関連等のうち、「BS放送用受信装置」は33.1%で前回並み、「CS放送用受信装置」は6.9%、「BSデジタル放送用受信装置」は5.4%と微増傾向である。今回新たに調査した「地上デジタル放送用受信装置」は2.6%の利用率となっている。「ケーブルテレビ」は21.0%と前回より6.8ポイント増加して2割台にのせた。前回から調査開始した「液晶テレビ」は微増して8.0%、「プラズマテレビ」は2.4%の利用率である。
- ・ 「ビデオカメラ」は前回より3.3ポイント増の34.6%、これまで増加傾向の「デジタルカメラ」は前回よりさらに7.9ポイント増の33.9%と、3人中1人の割合に達した。
- ・ 「MDプレーヤー」も順調に伸長して、29.6%と3割近くの利用率を占めるが、「携帯メモリーオーディオ(MP3など)」は横ばいの1.5%となっている。
- ・ パソコン・ゲーム機の機能を含めた「DVDプレーヤー」は前回比8.8ポイント増と急増して34.5%となり、「ハードディスクレコーダー」も微増して4.2%、「家庭用ゲーム機」は27.9%で横ばい。
  
- ・ パソコン関連では、増加傾向の「パソコン(計)」はさらに7.9ポイントも増加して49.3%、利用率は5割近くに及ぶ。パソコンのうち、「デスクトップ型(据え置き型)」は微増の31.0%、「ノート/ブック型」は24.6%と、前回より5.5ポイント増とその伸びは大きい。「ミニノート型」は7.6%とわずかながら増加している。
- ・ 「パソコン用プリンター」は大きく伸びて、40.1%と4割台にのせ、「スキャナー(13.4%)」も増加傾向を示している。「携帯型情報端末(PDA)」は4.2%で大きな伸びはみられなかった。
  
- ・ 通信関連等では、前回小幅の伸びにとどまった「インターネットの利用」は、前回より4.4ポイント増加して34.6%の利用率となった。前々回から調査開始した「ブロードバンド回線の利用(ADSL、光ファイバー、CATV)」は前回より4.9ポイント増加して17.2%と順調に伸び、「インターネットの利用者」の半数が“ブロードバンド・ユーザー”となった。今回から調査開始した「インターネット電話(IP電話)」の利用率は4.6%となっている。
- ・ 「携帯電話(計)」は前回より6.4ポイント増加して、67.9%と7割近い利用率となった。携帯電話のうち、「カメラ付き携帯電話」が急増して、40.0%と4割の利用、逆に、「カメラ付きを除く携帯電話」が激減の34.4%で、両者の利用率はこの1年間に逆転し、「カメラ付き携帯電話」に急速に移行している。一方、「PHS」は3.3%の利用率で前回と横ばいとなっている。
- ・ 前回横ばいだった「家庭用ファクシミリ」は前回より6.6ポイント増の36.7%と、3人中1人以上の利用率となっている。

## 2 利用意向率（図表1）

- ・次に、これらの機器を「これから先、新たに利用したい」と思う人の比率をみると、上位のものから順に、前回から調査開始した「液晶テレビ」が14.4%と最も高く、次いで、前回1位の「パソコン（計）」が13.1%、「プラズマテレビ」が11.3%と、いずれも1割台の利用意向と高く、以下、「ノート/ブック型パソコン」が7.9%、「デジタルカメラ」が7.8%、「BSデジタル放送用受信装置」が7.5%、「携帯電話（計）」が7.0%、「BS放送用受信装置」が6.7%、今回から調査開始した「地上デジタル放送用受信装置」が6.2%などの順になっている。
- ・パソコンの新規利用意向の内訳では、「ノート/ブック型」が7.9%、「ミニノート型」が3.2%、「デスクトップ型」が2.9%となっている。「携帯電話」の内訳では「カメラ付き」が5.9%、「カメラ付き以外」が1.2%である。

## 3 年代別の特徴（図表2）

### （利用率）

#### AV関連機器等については、

- ・「BS放送用受信装置」の利用率は、いずれの年代でも3割～4割弱（29.8～38.4%）と高く、年代差は比較的小さい。今回急増した「ケーブルテレビ」は各年代で2割前後（16.8～24.4%）の利用率を占める。
- ・「ビデオカメラ」は年代差が大きく、30～40代での利用率が高く、特に子育て期の30代では6割近く（57.1%）に及んでいる。「デジタルカメラ」にも年代差がみられ、20～40代で半数近い人（46.5～47.0%）が利用している。
- ・「DVDプレーヤー」、「MDプレーヤー」はともに20代の利用率が最も高く、順に6割（59.6%）、5割台半ば（54.8%）の比率で、いずれも年代差が大きい。また「DVDプレーヤー」は30代での利用も半数（50.7%）に及ぶ。「家庭用ゲーム機」は若年層ほど利用率が高く、20～40代では4割台（42.7～47.8%）を占めて年代差が大きい。

#### パソコン関連機器では、

- ・「パソコン（計）」は年代差が大きく、20～40代での利用が6割～7割台（64.4～71.3%）の比率に対して、60代以上では2割（20.0%）となっている。
- ・「パソコン用プリンター」は20～40代（53.9～56.1%）、「スキャナー」は30～40代（20.2～21.0%）を中心に高い。

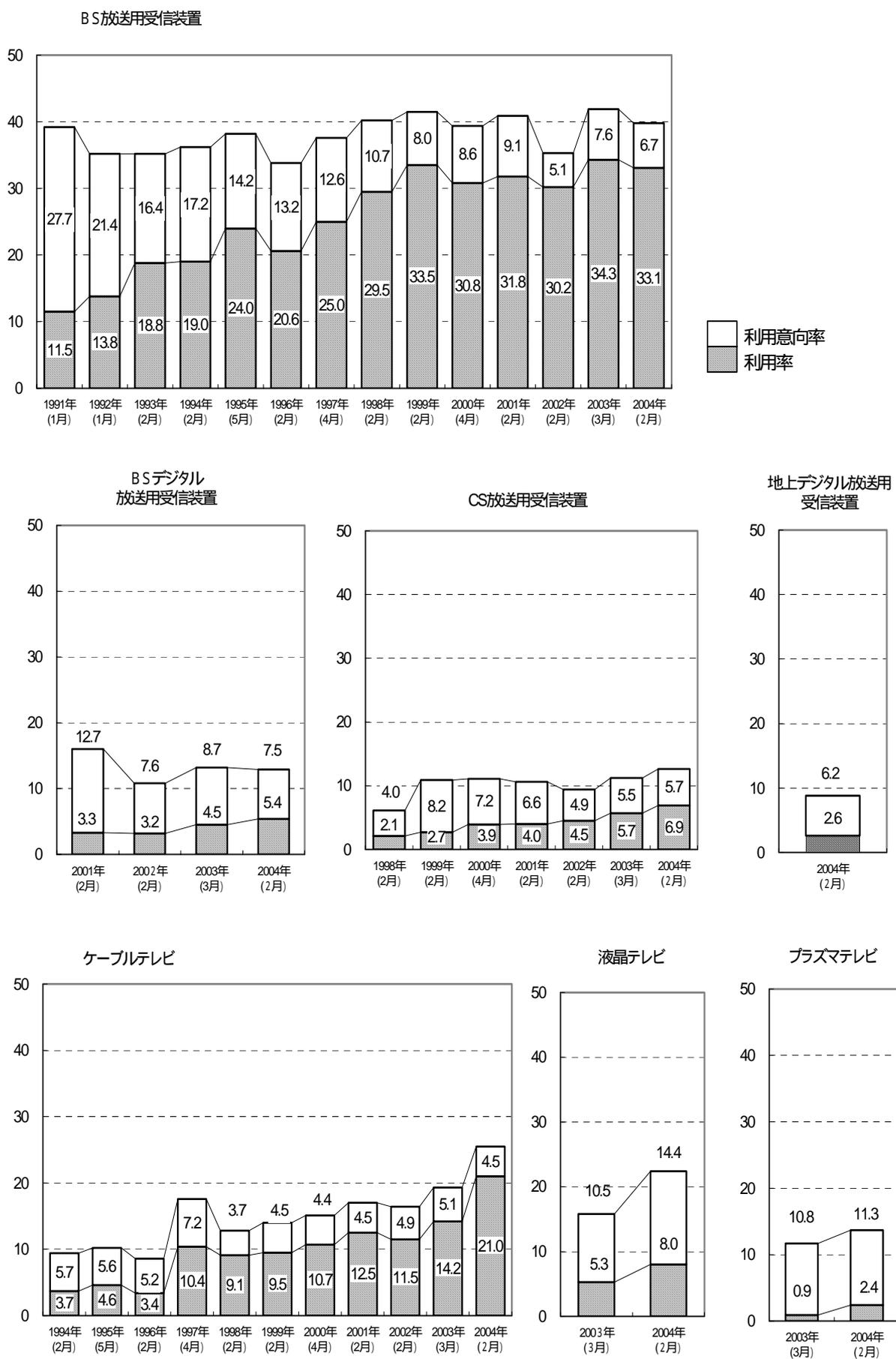
#### 通信関連機器等では、

- ・「インターネットの利用」は20～40代でほぼ5割（47.3～50.4%）、50代でも3割台（34.1%）の利用率である。今回増加がみられた「ブロードバンド回線の利用」は20～40代（23.8～27.8%）でいずれも2割台となっている。
- ・「携帯電話（計）」は年代差が大きく、最高は20代の94.1%、30～40代でも9割近く（87.5～88.5%）、50代で7割台（70.6%）、最低の60歳以上でも3割（29.7%）と今や生活の必需品といえよう。そのうち、「カメラ付き携帯電話」の利用率も20代の7割台（71.6%）が最も高い。
- ・「家庭用ファクシミリ」は30～40代での利用率が5割（49.8～51.5%）と高い。

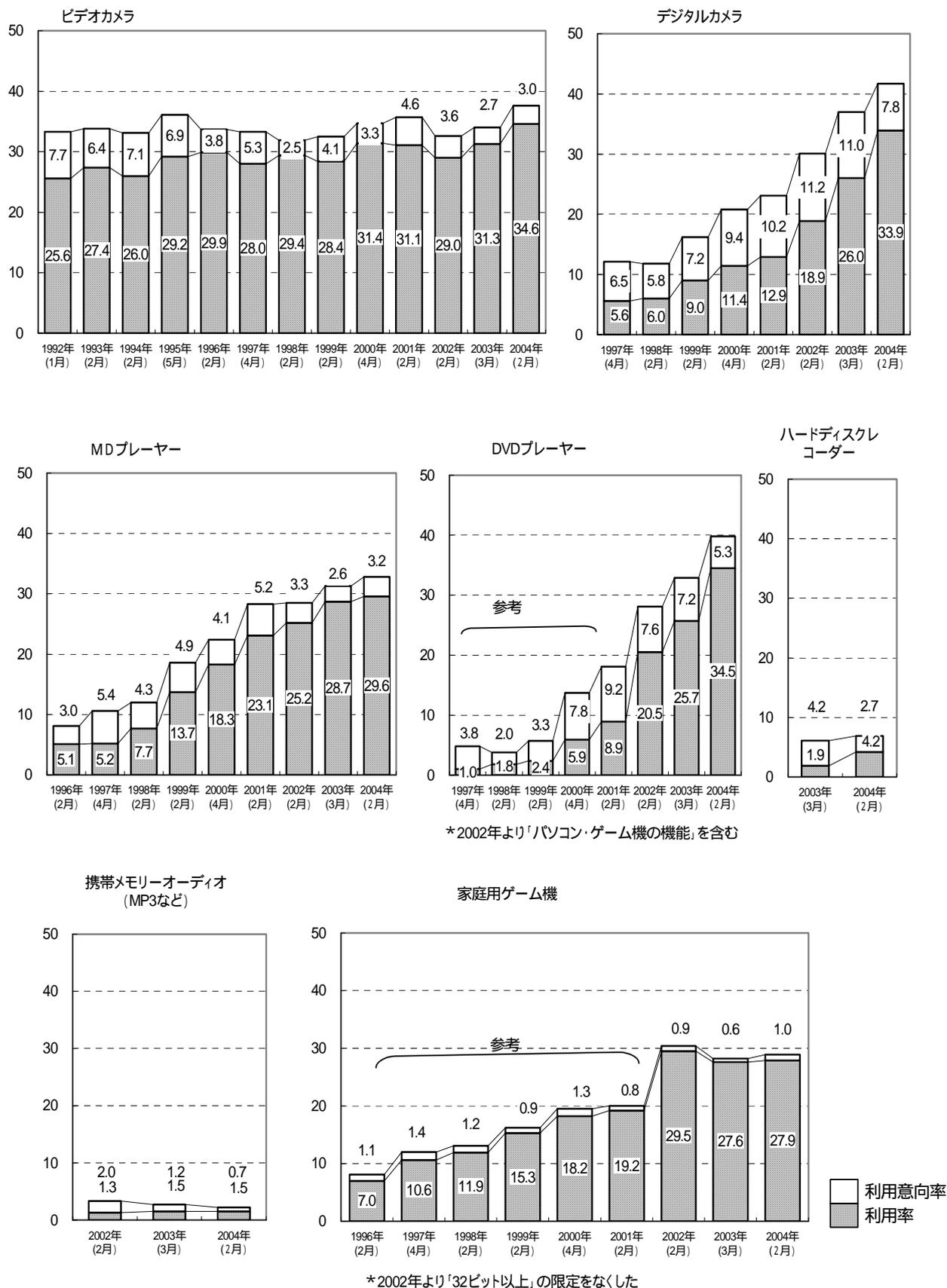
**(利用意向率)**

- ・利用意向率は、AV関連等では、おおむね若年層で高い意向がみられる。20代では「CS放送用受信装置」(12.2%)、「DVDプレーヤー」(9.7%)、「MDプレーヤー」(7.2%)、「ビデオカメラ」(6.8%)で最も高い。20~30代で「プラズマテレビ」(18.7~20.8%)、「デジタルカメラ」(11.1~11.2%)、20~40代で「液晶テレビ」(16.6~20.7%)、30~40代で「地上デジタル放送用受信装置」(10.0~10.2%)がそれぞれ1割以上の利用意向と高い。
- ・パソコン関連では、「パソコン(計)」をはじめとして、いずれの型式でも若年層に利用意向が高くなっている。特に20~30代で「パソコン(計)」が2割前後(19.0~22.2%)、「ノート/ブック型パソコン」が1割強(12.3~12.5%)となっている。「スキャナー」は20代(7.0%)で高い。
- ・通信関連等では、「インターネットの利用」は20~30代で1割弱(8.5~9.2%)の利用意向となっているが、「ブロードバンド回線の利用」は30代で1割強(13.0%)と高く、他の年代を上回っている。「携帯電話(計)」の新規利用意向は40~50代(8.5~9.7%)が中心となっており、家庭用ファクシミリは30代(4.0%)に高い。

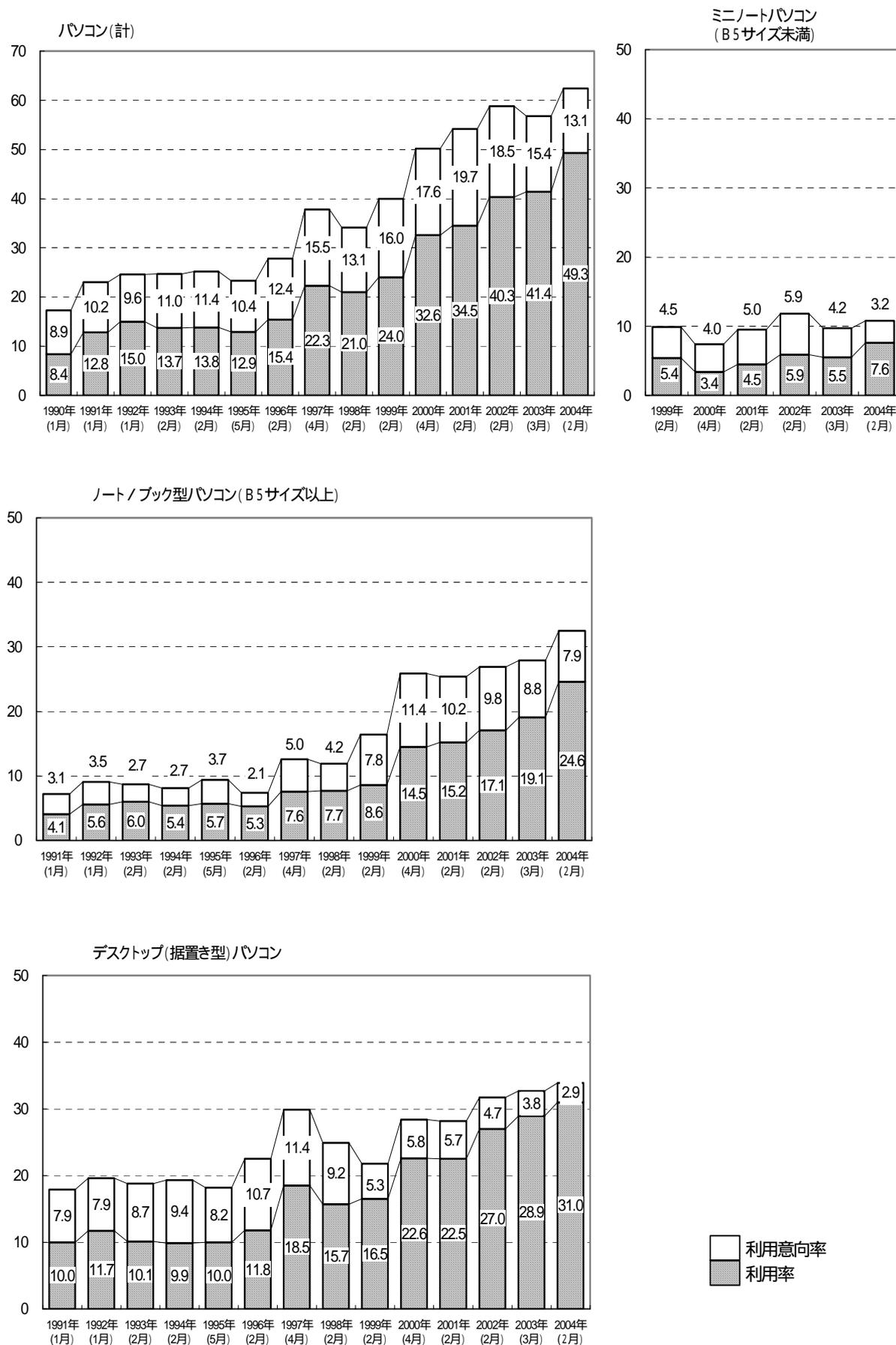
図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率



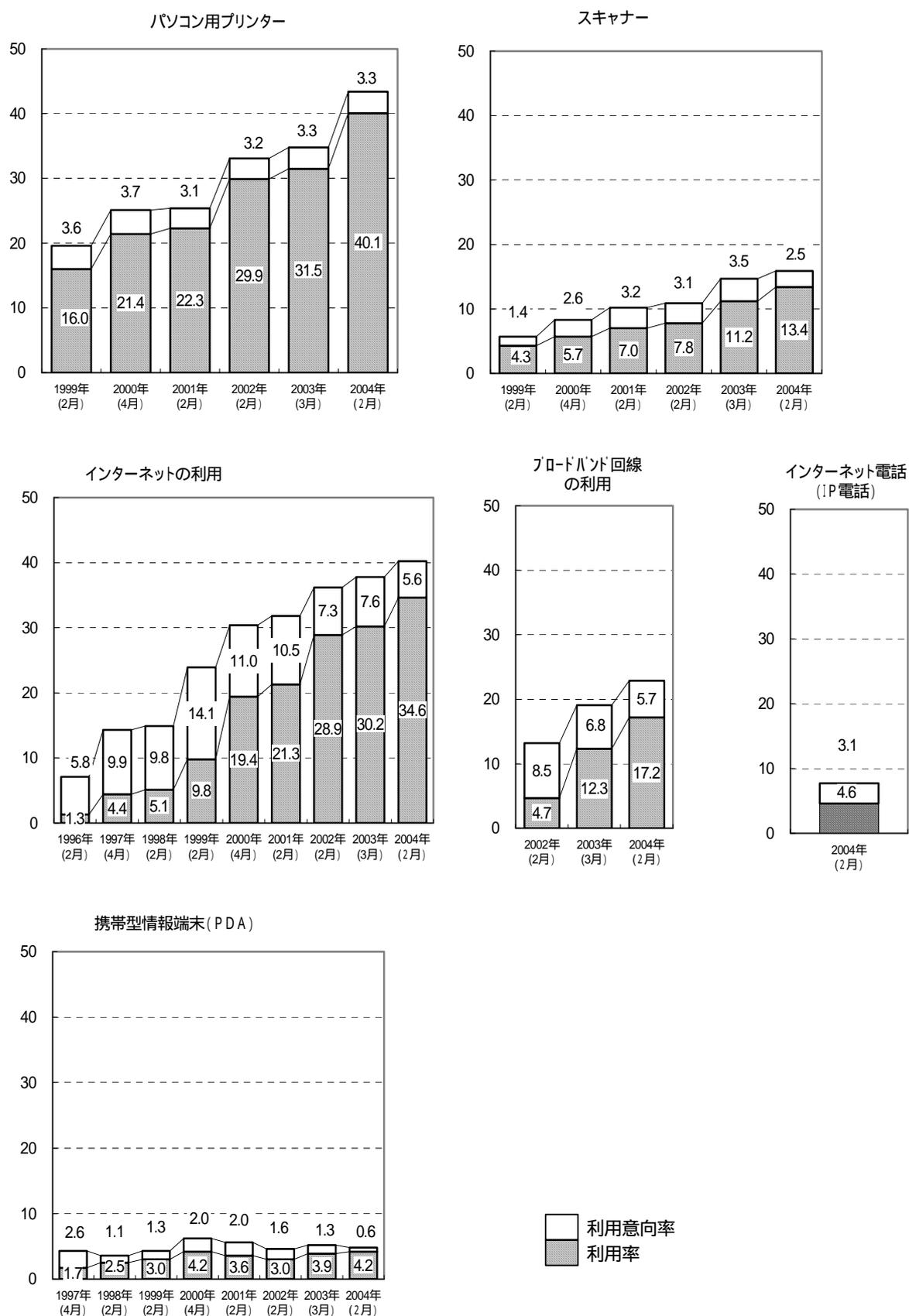
図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率（つづき）



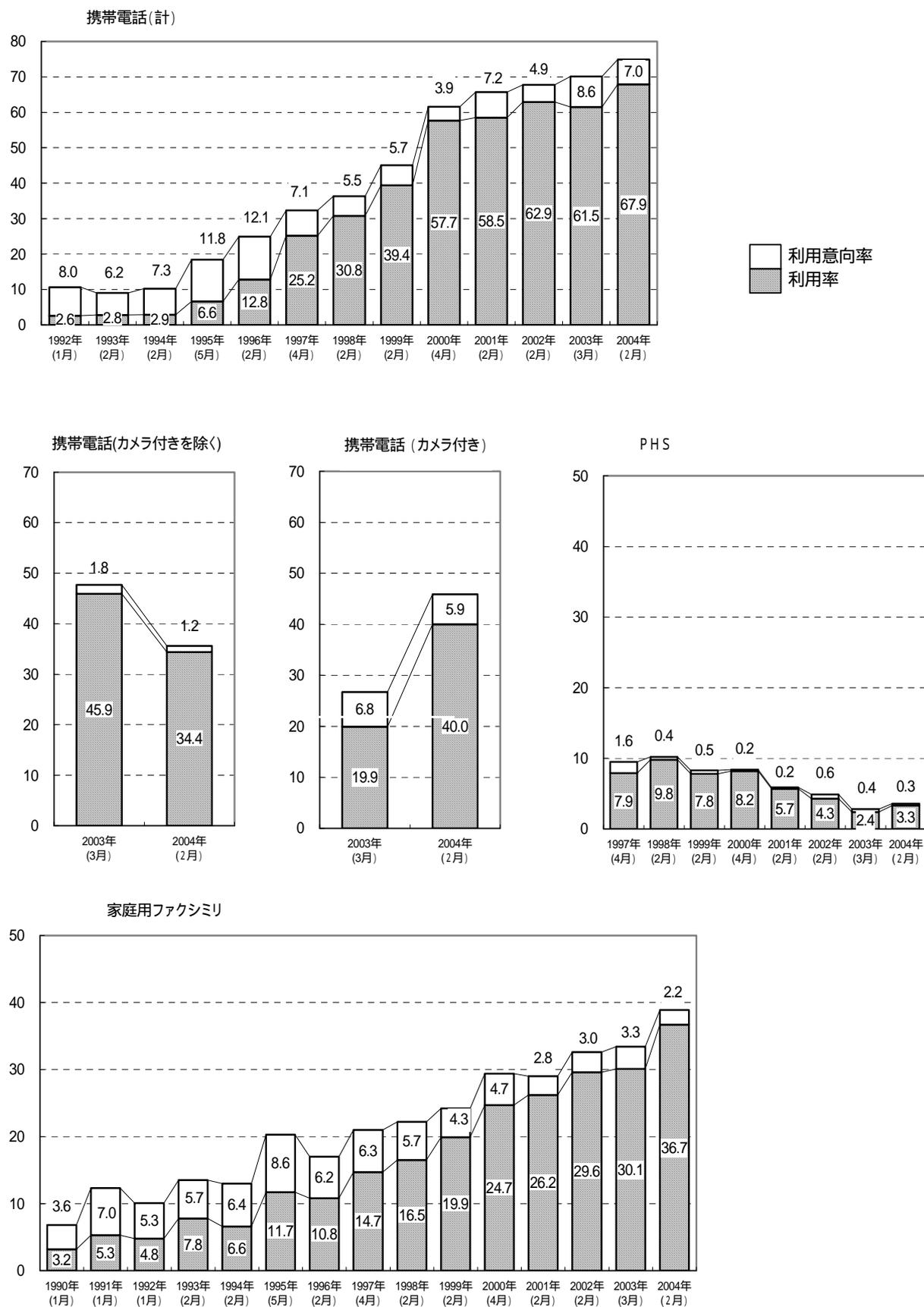
図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)



図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率（つづき）



図表1 パーソナル先端商品の利用率・利用意向率(つづき)



図表2 年代別利用率・利用意向率

(%)

		B S 放送用 受信装置	B S デジタル 放送 用 受信装置	C S 放送用 受信装置	地上 デジタル 放送 用 受信装置	ケー ブル テレビ	液 晶 テレビ	プ ラ ズ マ テレビ	ビ デオ カメラ	デ ジ タル カメラ	M D プ レ ー ヤー	D V D プ レ ー ヤー	コ ー ダ ー ハード ディス ク レ ー ス	携 帯 メモ リー オ ー ディ オ	家 庭 用 ゲ ー ム 機
利用率	全体	33.1	5.4	6.9	2.6	21.0	8.0	2.4	34.6	33.9	29.6	34.5	4.2	1.5	27.9
	20代	33.5	7.2	10.7	4.2	20.7	9.8	3.6	29.8	46.6	54.8	59.6	4.1	3.7	47.8
	30代	29.8	2.9	7.1	3.4	22.6	9.3	1.6	57.1	47.0	35.1	50.7	5.5	1.8	44.6
	40代	32.2	5.2	11.8	1.6	23.3	9.4	3.0	48.4	46.5	41.4	46.2	4.7	2.2	42.7
	50代	38.4	6.4	7.0	1.8	24.4	7.9	2.8	35.0	32.6	24.0	29.2	6.5	0.8	18.2
	60代以上	31.8	5.2	2.1	2.1	16.8	5.5	1.6	17.3	13.6	9.6	8.3	1.9	0.2	5.7
	(年代差)	(8.6)	(4.3)	(9.7)	(2.6)	(7.6)	(4.3)	(2.0)	(39.8)	(33.4)	(45.2)	(51.3)	(4.6)	(3.5)	(42.1)
利用意向率	全体	6.7	7.5	5.7	6.2	4.5	14.4	11.3	3.0	7.8	3.2	5.3	2.7	0.7	1.0
	20代	9.0	10.0	12.2	7.2	4.0	20.7	18.7	6.8	11.1	7.2	9.7	4.4	1.5	2.3
	30代	8.0	8.9	10.3	10.0	9.5	16.6	20.8	1.6	11.2	6.3	8.6	5.9	0.3	2.3
	40代	7.2	11.1	6.4	10.2	4.7	19.9	14.7	3.8	9.4	2.5	8.3	5.5	1.9	0.6
	50代	8.4	7.4	2.4	4.0	3.7	13.5	7.7	2.2	7.7	1.1	2.4	0.4	0.4	0.7
	60代以上	3.2	3.5	1.1	2.8	2.5	7.3	2.3	1.6	3.3	0.9	1.4	0.0	0.0	0.0
	(年代差)	(5.8)	(7.6)	(11.1)	(7.4)	(7.0)	(13.4)	(18.5)	(5.2)	(7.9)	(6.3)	(8.3)	(5.9)	(1.9)	(2.3)

		パ ソ コ ン (計)	ミ ニ ノ ー ト パ ソ コ ン	ノ ー ト ブ ッ ク 型 パ ソ コ ン	デ ス ク ト ッ プ 型 パ ソ コ ン	タ ブ レ ッ ト 型 パ ソ コ ン	ス キ ャ ナ ー	携 帯 型 情 報 端 末 (P D A)	用 意 向 率	イ ン タ ー ネ ッ ト の 利 用 率	ブ ロ ー ド バ ン ド 回 線	イ ン タ ー ネ ッ ト 電 話 (I P 電 話)	携 帯 電 話 (計)	携 帯 電 話 (カ メ ラ 付 き を 除 く)	携 帯 電 話 (カ メ ラ 付 き)	P H S	家 庭 用 フ ァ ク シ ミ リ
利用率	全体	49.3	7.6	24.6	31.0	40.1	13.4	4.2	34.6	17.2	4.6	67.9	34.4	40.0	3.3	36.7	
	20代	64.4	12.2	30.6	40.5	56.1	11.2	5.7	50.4	26.7	5.0	94.1	29.7	71.6	3.7	41.3	
	30代	71.3	8.2	29.1	48.6	53.9	20.2	8.0	48.4	23.8	7.7	87.5	41.3	55.0	5.5	49.8	
	40代	65.6	11.7	35.9	41.2	55.0	21.0	4.7	47.3	27.8	6.8	88.5	43.4	52.3	4.1	51.5	
	50代	49.4	7.1	30.0	29.5	38.7	16.1	4.1	34.1	15.1	5.0	70.6	45.2	35.5	2.8	32.2	
	60代以上	20.0	2.8	9.6	11.4	16.5	5.1	0.9	11.7	3.9	1.1	29.7	21.7	10.1	1.6	21.8	
	(年代差)	(51.3)	(9.4)	(26.3)	(37.2)	(39.6)	(15.9)	(7.1)	(38.7)	(23.9)	(6.6)	(64.4)	(23.5)	(61.5)	(3.9)	(29.7)	
利用意向率	全体	13.1	3.2	7.9	2.9	3.3	2.5	0.6	5.6	5.7	3.1	7.0	1.2	5.9	0.3	2.2	
	20代	22.2	5.5	12.5	4.9	4.9	7.0	1.4	8.5	7.1	4.2	4.4	0.0	4.4	0.8	2.7	
	30代	19.0	4.9	12.3	2.8	4.8	4.0	0.8	9.2	13.0	4.3	6.5	0.0	6.5	0.0	4.0	
	40代	16.0	4.7	8.6	3.8	3.8	2.7	0.0	5.9	7.7	3.0	9.7	0.6	9.1	0.0	2.2	
	50代	11.6	1.8	8.4	2.5	3.4	0.4	0.4	5.4	2.9	3.6	8.5	2.5	5.9	0.8	1.8	
	60代以上	4.0	0.9	2.1	1.4	1.2	0.2	0.5	2.1	1.4	1.6	6.5	2.1	4.9	0.0	1.2	
	(年代差)	(18.2)	(4.6)	(10.4)	(3.5)	(3.7)	(6.8)	(1.4)	(7.1)	(11.6)	(2.7)	(5.3)	(2.5)	(4.7)	(0.8)	(2.8)	

**(調査品目および質問項目)****〔今回の調査品目〕****(注) 前回からの変更点**

[1] B S 放送受信装置 ( N H K 第一、第二など )	変更なし
[2] B S デジタル放送用受信装置 ( B S 朝日、B S フジ、B S ジャパンなど )	変更なし
[3] C S 放送用受信装置 ( スカイパーフェク T V ! など )	変更なし
[4] 地上デジタル放送用受信装置	今回から新設
[5] ケーブルテレビ ( C A T V ・有線テレビ )	変更なし
[6] 液晶テレビ	変更なし
[7] プラズマテレビ	変更なし
[8] ビデオカメラ	変更なし
[9] デジタルカメラ	変更なし
[10] M D プレーヤー	変更なし
[11] D V D プレーヤー ( パソコン、ゲーム機の機能も含む )	変更なし
[12] ハードディスクレコーダー ( ハイブリッドレコーダーも含む )	変更なし
[13] ミニノートパソコン ( モバイルノート : B 5 判サイズ未満 )	変更なし
[14] ノート / ブック型パソコン ( B 5 判サイズ以上 )	変更なし
[15] デスクトップ型 ( 据え置き型 ) パソコン	変更なし
[16] パソコン用プリンター	変更なし
[17] 携帯型情報端末 ( P D A - ザウルス、パームなど )	変更なし
[18] スキャナー	変更なし
[19] 家庭用ファクシミリ	変更なし
[20] 家庭用ゲーム機 ( プレイステーション 2、X b o x など )	変更なし
[21] 携帯電話 ( カメラ付きを除く )	変更なし
[22] 携帯電話 ( カメラ付き )	変更なし
[23] P H S	変更なし
[24] インターネットの利用	変更なし
[25] ブロードバンド回線の利用 ( A D S L、光ファイバー、C A T V、無線 L A N など )	変更なし
[26] インターネット電話 ( I P 電話 )	今回から新設
[27] 携帯メモリーオーディオ ( i - p o d、M P 3 プレーヤーなど )	変更なし

注・図表中の「パソコン(計)」は[13]～[15]を合計した利用率・意向率を表したものである。

・図表中の「携帯電話(計)」は[21]～[22]を合計した利用率・意向率を表したものである。

**〔調査項目〕**

前回から引き続き、以下の2項目。いずれも多項選択式

(1) 「あなた自身が持っているもの、または家にあって自分で使っているもの」(利用率)

(2) 「これから先、新たに利用したいもの」(利用意向率)

## 調 査 の 概 要

## (調査設計)

(1)調査地域	全 国
(2)調査対象	20 歳以上の男女個人
(3)標本数	2,000
(4)抽出方法	層化 2 段無作為抽出
(5)調査方法	個別面接聴取法
(6)調査時期	2004 年 2 月 11 日 ~ 15 日
(7)有効回収数	1,383 (回収率 69.2%)

(属性別回収内訳)	規正標本数	構成比(N=1,383)
(1)市郡規模		%
14 大市	326	22.1
その他の市	751	56.0
町 村	306	21.9
(2)性 別		
男 性	670	48.5
女 性	713	51.5
(3)年代別		
20 代	240	17.5
30 代	238	16.9
40 代	218	16.2
50 代	263	19.2
60 歳以上	424	29.8
(4)職業別		
農林漁業	38	2.6
商工サービス業	143	10.9
事務職	277	17.2
労務職	325	23.1
自由業・管理職	54	3.6
無職の主婦	333	24.7
学 生	34	2.6
その他の無職	179	15.3

回収率の性・年代差による歪みを補正（過去のデータも同様の補正を行った）

東京 23 区及び 2004 年 2 月現在の政令指定都市

<問い合わせ先>

東京都中央区銀座 6 - 16 - 12

社団法人 中央調査社（会長 榊原 潤）

T E L 0 3 ( 3 5 4 9 ) 3 1 2 1

（担当：調査部 阿高、宮下）

\* より詳細なクロス集計表を有料（1 万 5 千円（税別））で頒布しています。